

ストレスバイオテクノロジーシンポジウム Stress Biotechnology Symposium

ストレスバイオテクノロジーとその関連技術

(Stress Biotechnology and Its Application)

2002年5月25日(土) 11:30~17:45
大阪大学 豊中キャンパス 待兼山会館2F 会議室

11:30 開会の辞 久保井亮一(大阪大)

[Session 1] リポソームとストレスセンシング

Liposome and Stress Sensing

- 11:35 ストレス応答型バイオプロセスと次世代マイクロプロセスへの展開
(大阪大) 久保井亮一
- 12:05 タンパク質の構造異常・アミロイドーシスとストレスセンシング
(大阪大) 島内寿徳
- 12:25 タンパク質・脂質膜の構造状態の電気化学的・物理化学的評価を目指した
ストレスセンサの構築
(大阪大) Ho-Sup Jung

[Session 2] バイオリアクター/マイクロバイオリアクター

Bioreactor / Microbioreactor

- 13:00 Production of N-Acetyl Chitooligosaccharides by Enzymatic Hydrolysis of Partially
Deacetylated Chitosans
(韓国 東亜大学) 金 廣
- 13:50 アンフィフィル-水界面を用いたリパーゼの非水媒中での酵素活性化
(山口大) 福永公寿
- 14:30 固定化酵素封入リポソームを生体触媒とするバイオリアクター
(山口大) 吉本誠

[Session 3] ストレスバイオテクノロジーと人工臓器

Stress Biotechnology and Artificial Organs

- 15:00 ストレスバイオテクノロジーの概念と微生物コントロールへの応用
(関西大) 土戸哲明
- 15:50 人工臓器とストレスって関係ある?—バイオ人工肝の開発と次世代人工臓器—
(大阪大) 大政健史
- 16:10 センシングにおけるターゲット-リガンド相互作用の速度論
(大阪大) 片倉啓雄

[Session 4] ストレスセンサとその関連技術

Stress Sensor and Its Application

- 16:40 自己組織化分子による機能性界面の形成—微視的な化学反応場としての利用—
(和歌山高専) 林純二郎
- 17:00 細胞膜のストレス応答機能を利用する新規なバイオセンサの開発
~固体表面上へのリポソームの固定化~
(和歌山高専) 森田誠一
- 17:20 脂質ポリマーを用いた二分子膜の固体表面上での微細パターン化
(産総研(池田)) 森垣憲一
- 17:40 閉会の辞 土戸哲明(関西大)